

第106回スタディグループ分科会(第4回監査基礎講座共同開催)結果報告

運営委員長 深谷和章

(文責:平野)

1. 開催日時 2023年10月4日(水) 14:00～17:00
2. 開催場所 文京区民センター3F 3-D会議室(Zoomオンラインとの併用)
3. テーマ 「初めての監査役」～私はこれから始めた～
4. 発表者
 - コーディネーター 竹中健幸氏 旭洋(株) 監査役(監査基礎講座運営委員)
 - リーダー 東 英夫氏 (株)アイプラネット 常勤監査役
 - メンバー 小松崎正人氏 エナジー・ソリューションズ(株) 監査役
 - 田島正彦氏 ケネディクス(株) 常勤監査役
 - 木下 泉氏 三井ホームエステート(株) 監査役
5. 出席者 43名(会場リアル参加25名、Zoomオンライン参加18名)
6. 事前配布資料
 - ・当日のスケジュール
 - ・各社の概要
 - ・5社の発表用資料
 - ・SG分科会の活動紹介資料(SG分科会について、2023年度の6テーマと発表予定など)
7. 発表と質疑の内容
 - 1) 全体の司会を竹中氏が担当、東氏、竹中氏、小松崎氏の順で発表、休憩をはさんで田島氏、木下氏が発表をした。
 - 2) 主な発表内容
 - ① 自己紹介、監査役就任の経緯
 - ② 会社の概要、機関設計
 - ③ 監査役として初年度(半年から1年)の主な活動
 - ④ 監査役としての実体験(困ったこと、わからなかったこと、悩んだこと)
 - ⑤ 重点的に取り組んだ(現在も取り組んでいる)監査項目
 - ⑥ 課題解決に向けての活動と成果
 - ⑦ 今後の課題と活動計画
 - ⑧ 監査役としての抱負
 - ⑨ 監査懇話会への要望
 - 3) 発表ごとの質疑、感想
各社の発表が終わるごとに2～3人くらいずつ、会場、オンライン参加者両方から発表内容への質問と感想を聞いた。
 - 4) リーダーからまとめ
5人の発表が終わり、休憩の後、リーダーの東氏よりまとめの報告があった。

- ・ワーキンググループとしての議論は2回、懇親会も持ったが、アドバイザー役の深谷委員長も交え、活発に意見が出て盛り上がりがあった。

- ・メンバーはさまざまな経歴を持ち、会社の業態、会社の中での監査役の立ち位置も違うが、本日の発表を通じていろいろな共通事項もあったかと思う。

- ① 監査役に就くことへの戸惑い、不安と踏ん切り

- ② 監査役の業務への社内での理解不足と対応

- ③ 監査役への情報量の少なさと積極的な情報収集の必要性⇒その一環として監査懇話会での活動は非常に有益

- ④ 役職員との信頼関係の構築

- ⑤ 監査役自らが業務改善を率先垂範

- ⑥ 様々なステークホルダーとの関係が非常に大事

- ・従来型のリスクに加え、サステナビリティ、人権問題、経済安保など新たなリスク、事業構造の変化や採用難など将来的なリスクにも監査役として目を配りながら、経営に提言していく必要があるのではという議論があったかと思う。

今後も監査懇話会の活動に継続して参加していきたい。

5) 質疑の続き

- ・先ほど各社の発表の中で議論になった、監査役と社長を含めた執行側との距離感について、会場参加者から、自社での体験に基づく意見が出て議論が深まった。

8. SG分科会の活動について、深谷委員長より説明

- ・今年度のSG分科会は7月にキックオフミーティングを行い、現在6つのワーキンググループ(WG)が活動中。本日発表のWG1に続き、11月14日にWG6が「情報通信技術(ICT)の進化と監査役」、12月20日にWG5が「人事労務・コンプライアンス監査の具体的なやり方」というテーマで発表予定。その後1～2月に3つのWGの発表を予定している。

- ・最後に、改めてSG分科会の活動のイメージと参加の意義を説明し、来年度の積極的参加を呼び掛けた。1月に会員からテーマを募り、4月にメンバーを募集する予定。

以上